

### 【すぎの子文庫】

木立に囲まれた静かなたたずまいの中にある小さな図書館「すぎの子文庫」。ここを拠点に活動されているのが、同じ名称のボランティアグループ「すぎの子文庫」代表・手塚うた子さんです。活動は、すぎの子文庫での本の貸し出しや交流を中心に仁比山小学校での読書ボランティア、子育てサークル「ほっぼらんど」での絵本読み語りなどのほか、神崎市中央公民館のおはなし会への協力、子どもの居場所づくり「ドリームパーク」の講師を務めるなど多彩です。



スタッフの読み聞かせに聞き入る子どもたち

### 人を思いやる気持ち伝えたい

また、読書ボランティア交流会や研究会への出席、朗読セミナー受講など、より充実した活動をめざす取り組みにも熱心です。グループの誕生は平成8年に牟田昭一郎さん（神埼町）が自宅近くに図書館を開設したことにさかのぼります。牟田さんは、自分の子ども時代は本を読む機会に恵まれず、夢を次代の子どもたちに託したいという思いから私財を投じて図書館を開設されたそうです。文庫を利用していた子育て中の母親たちの間で牟田さんの思いを自分たちで伝えていこうという機運が高まり、活



今年も盛況だったすぎの子まつり

動が始まりました。現在、グループのメンバーは9人。蔵書数は約3,500冊に達しています。



文庫が誕生した3月には毎年「すぎの子まつり」を開催。おはなし会のほか、屋外での体験イベントなども実施しています。今年は、野外で空き瓶を利用したスノードーム作りに挑戦しました。読書だけでなく、森の中にある立地を利用した自然とのふれあいは子どもたちにも大人気です。「苦労や悩みなどを感じたことはありません。子どもたちから返ってくる反応や表情にこちらが元気をもらっています」とメンバーの皆さん。

また、「牟田さんのおかげでこの活動があります。人を思いやるという牟田さんの気持ちが広がっていくことが私たちの願いです」と話されていました。



すぎの子まつりでのスノードーム作り

市民の立場で、住みよくなるまちづくりに取り組んでいる団体をシリーズで紹介してきました。この企画は今回で終了させていただきます。

毎週木、土曜日の10時から12時まで開館しています。貸し出しは一人6冊までです。ボランティアスタッフも常時募集しています。本が好きな人で年齢性別問いません。興味がある方は連絡してください。

「すぎの子文庫」代表 手塚うた子  
神崎市神埼町右原(神崎市右宮原団地南) TEL0952-53-6967

すぎの子文庫ブログ URL <http://suginoko.sagafan.jp/>